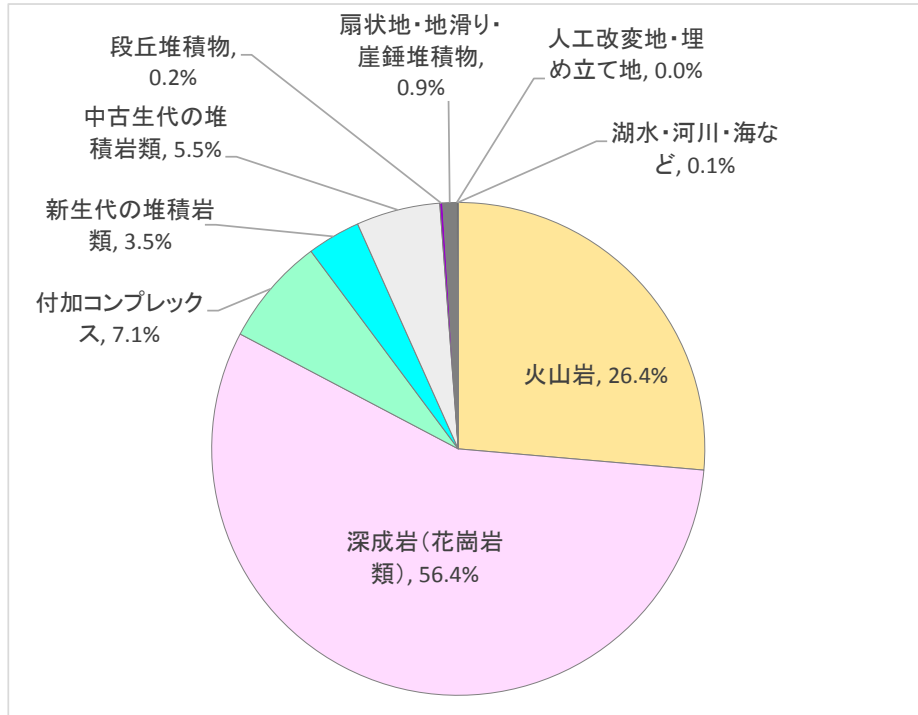


図7 地質別の森林面積、崩壊発生箇所数の割合（グラフ）

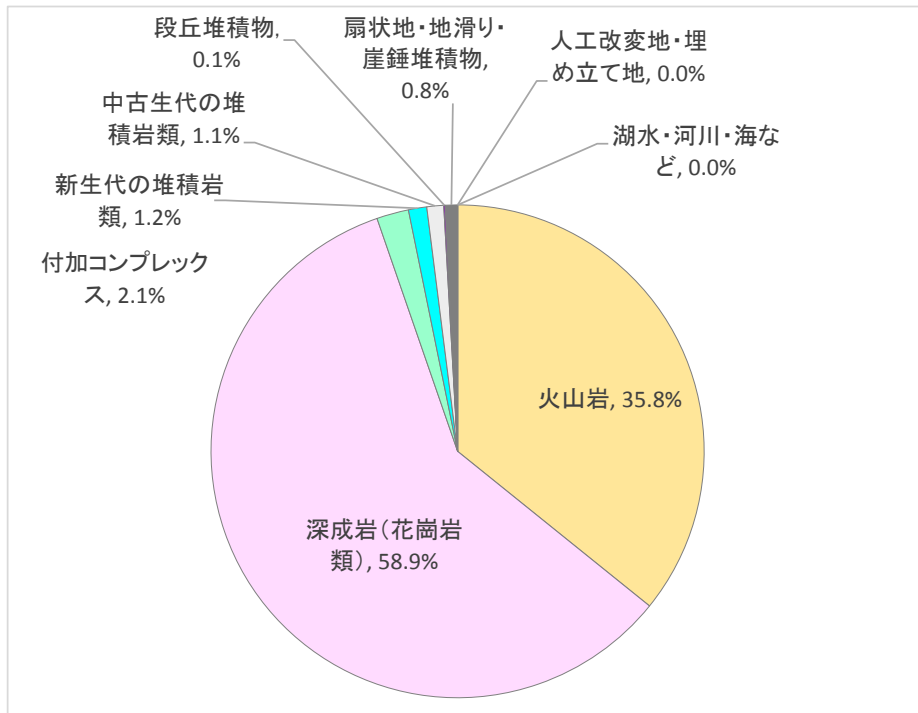
(1) 広島県

・ 森林地域



解析メッシュサイズ：250m×250m

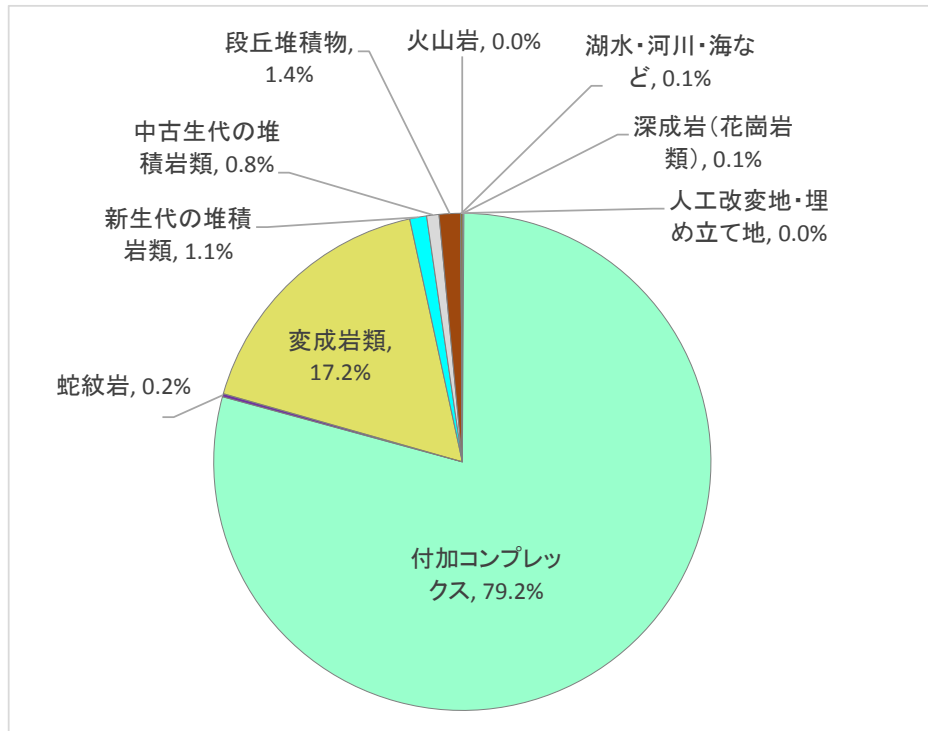
・ 崩壊地



解析メッシュサイズ：250m×250m

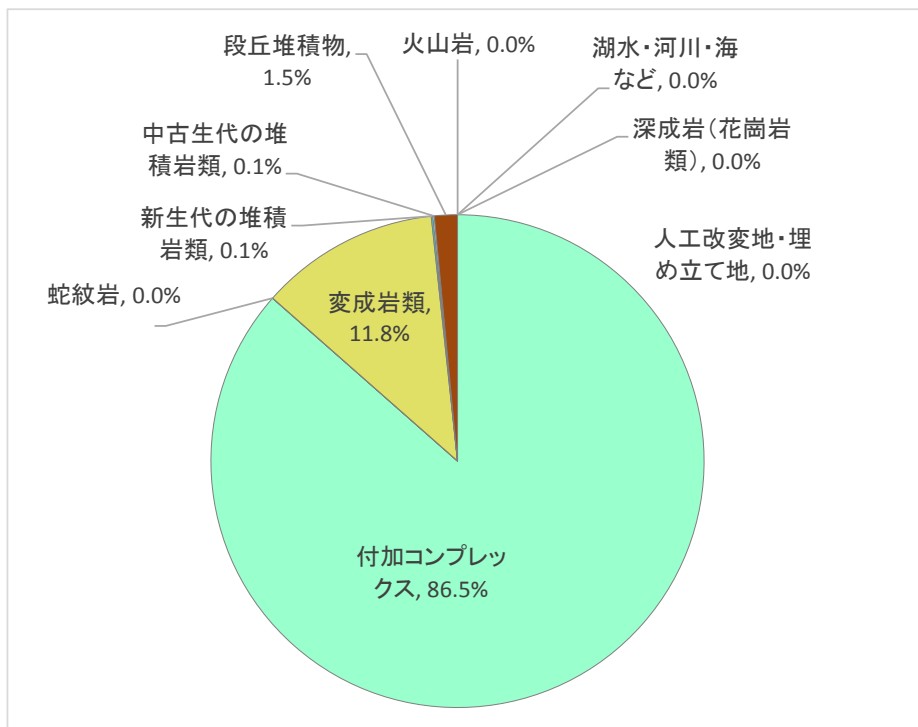
(2) 愛媛県

・ 森林地域



解析メッシュサイズ : 250m×250m

・ 崩壊地

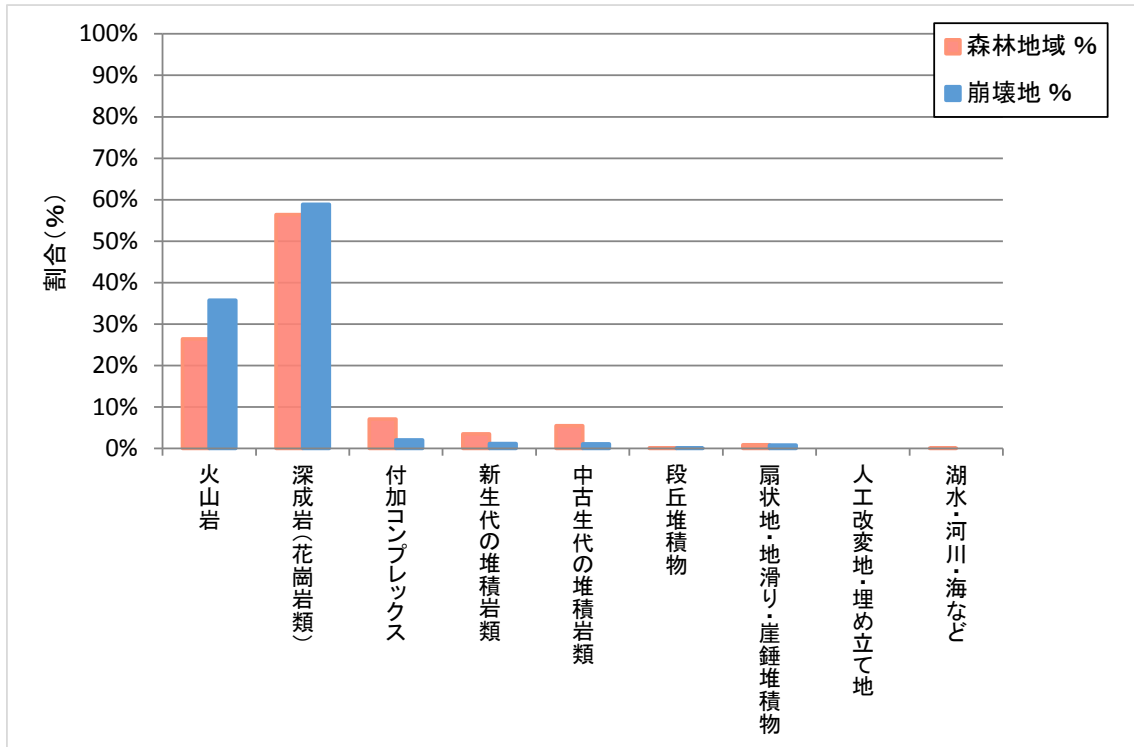


解析メッシュサイズ : 250m×250m

図8 地質別の崩壊発生箇所数（箇所数、単位面積当たり、グラフ）

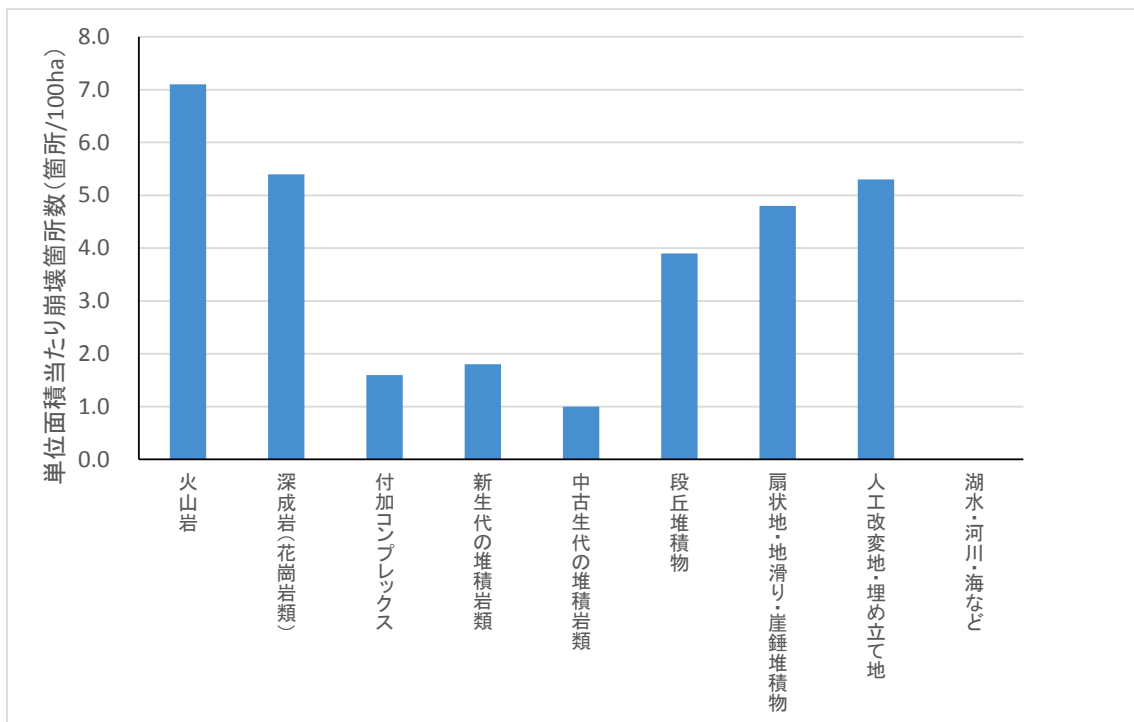
(1) 広島県

・箇所数



解析メッシュサイズ：250m×250m

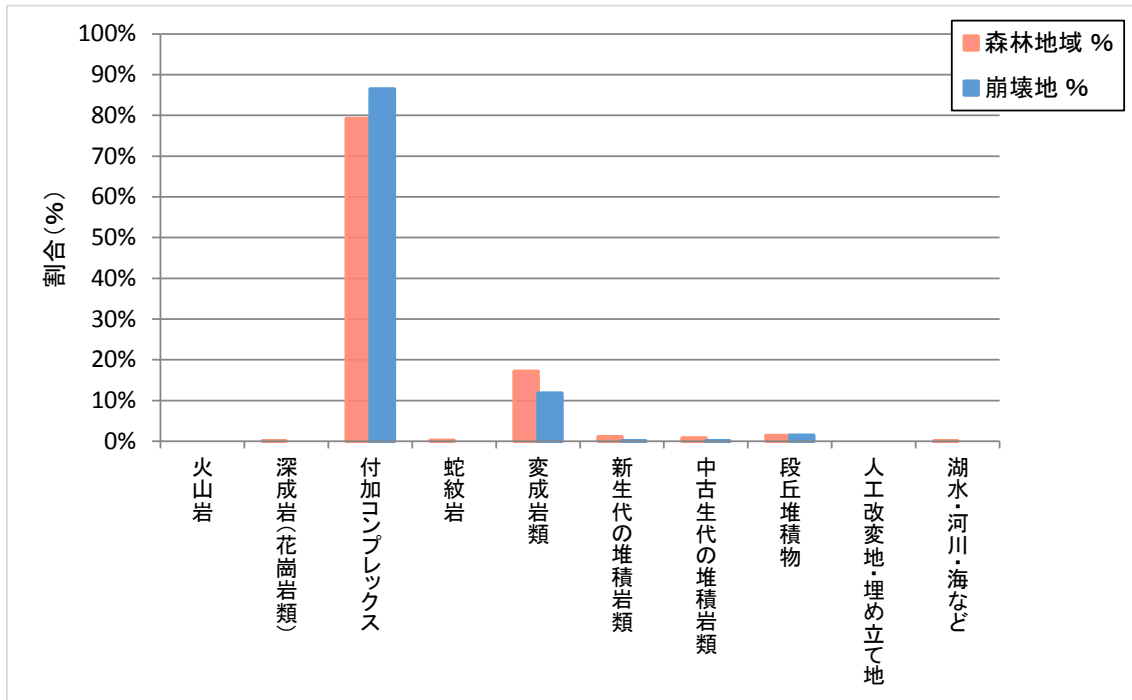
・単位面積当たり崩壊発生箇所数



解析メッシュサイズ：250m×250m

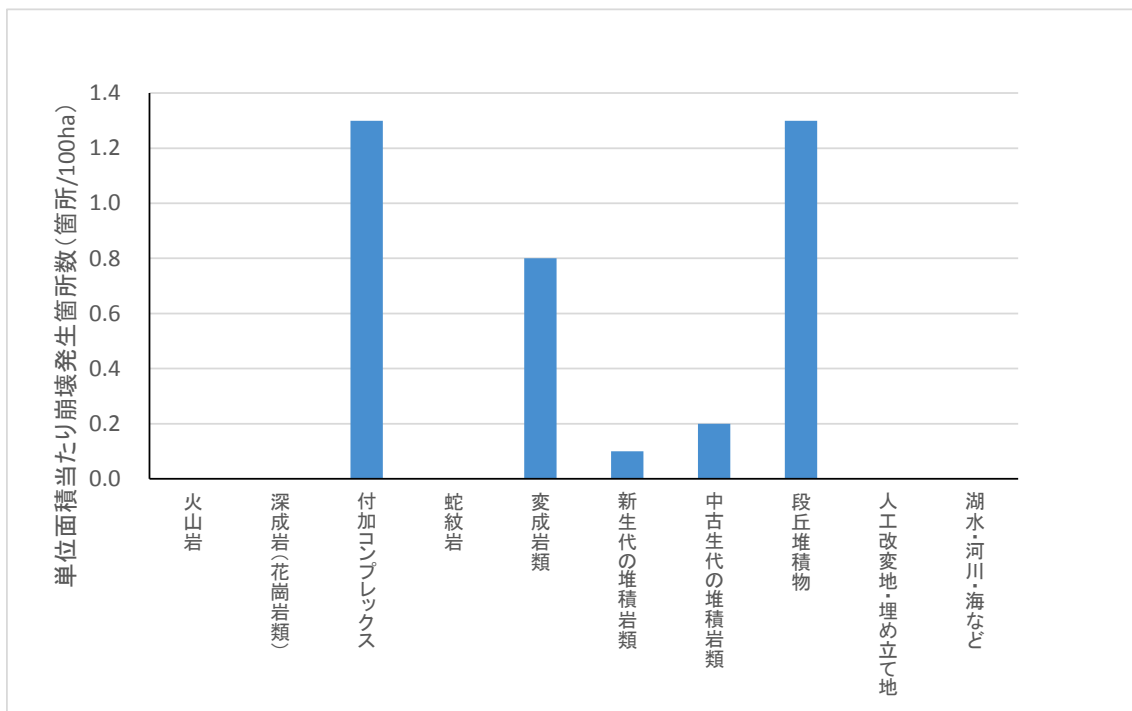
(2) 愛媛県

・ 箇所数



解析メッシュサイズ：250m×250m

・ 単位面積当たり崩壊発生箇所数

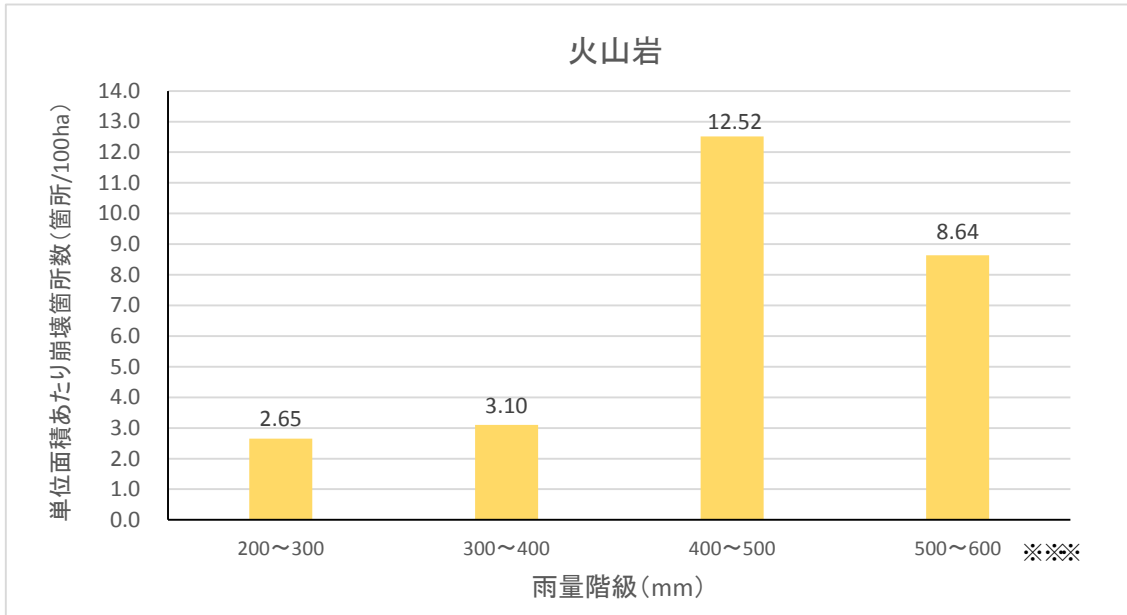


解析メッシュサイズ：250m×250m

図9 地質別、雨量階級別単位面積当たり崩壊発生箇所数

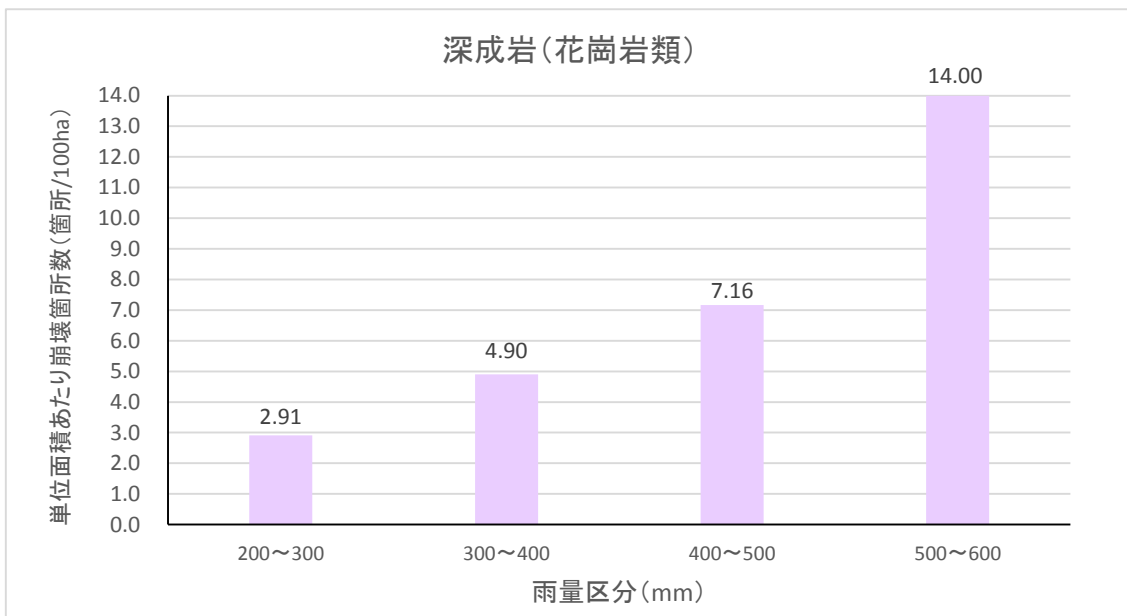
(1) 広島県

・雨量階級別単位面積当たり崩壊箇所数（72時間雨量、火山岩分布域）



※解析メッシュサイズ：250m×250m
 ※※分母：雨量階級毎の森林面積
 ※※※500～600mm：崩壊発生箇所数の比率は全体の0.1%

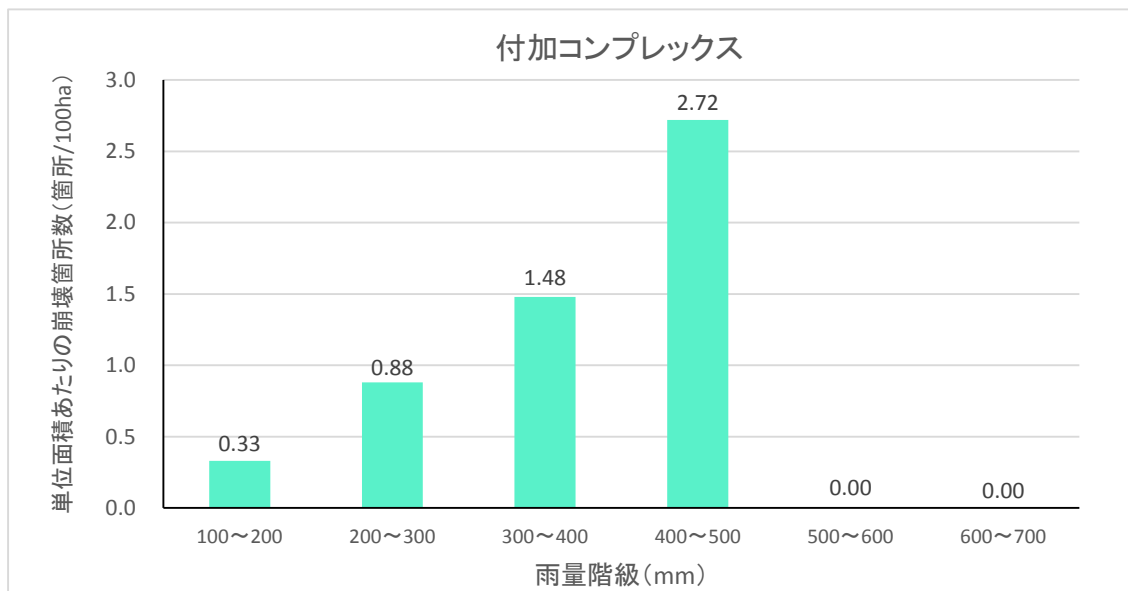
・単位面積当たり崩壊発生箇所数（72時間雨量、深成岩分布域）



※解析メッシュサイズ：250m×250m
 ※※分母：雨量階級毎の森林面積
 ※※※500～600mm：崩壊発生箇所数の比率は全体の0.5%

(2) 愛媛県

・雨量階級別単位面積当たり崩壊箇所数（72時間雨量、付加コンプレックス）

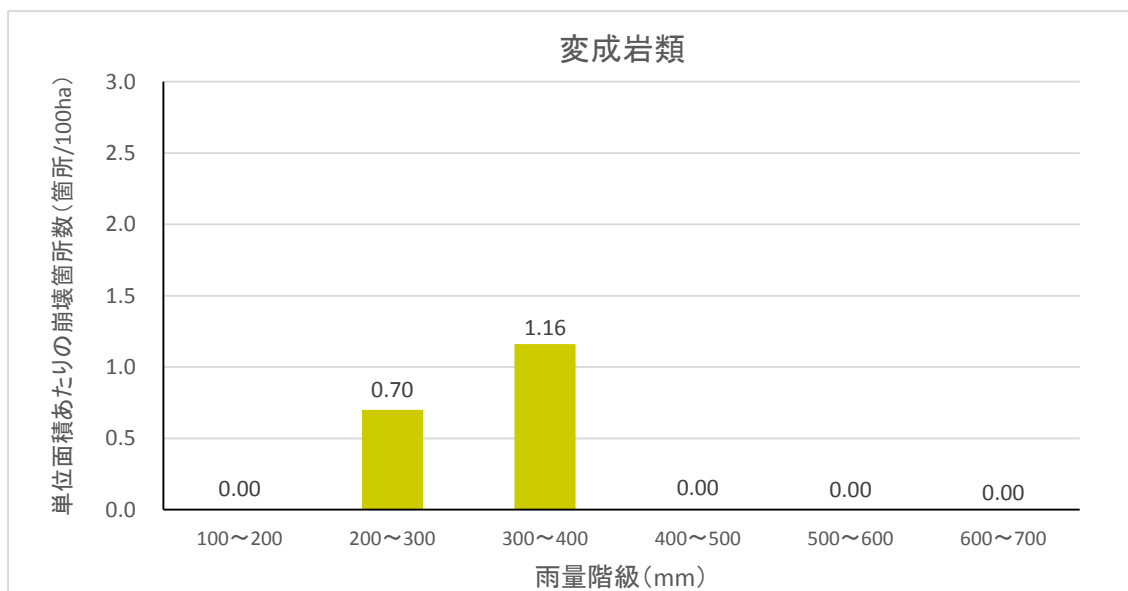


※解析メッシュサイズ：250m×250m

※※分母：雨量階級毎の森林面積

※※※500~700mm：崩壊発生箇所無し、森林面積割合 2.1%

・単位面積当たり崩壊発生箇所数（72時間雨量、変成岩類）



※解析メッシュサイズ：250m×250m

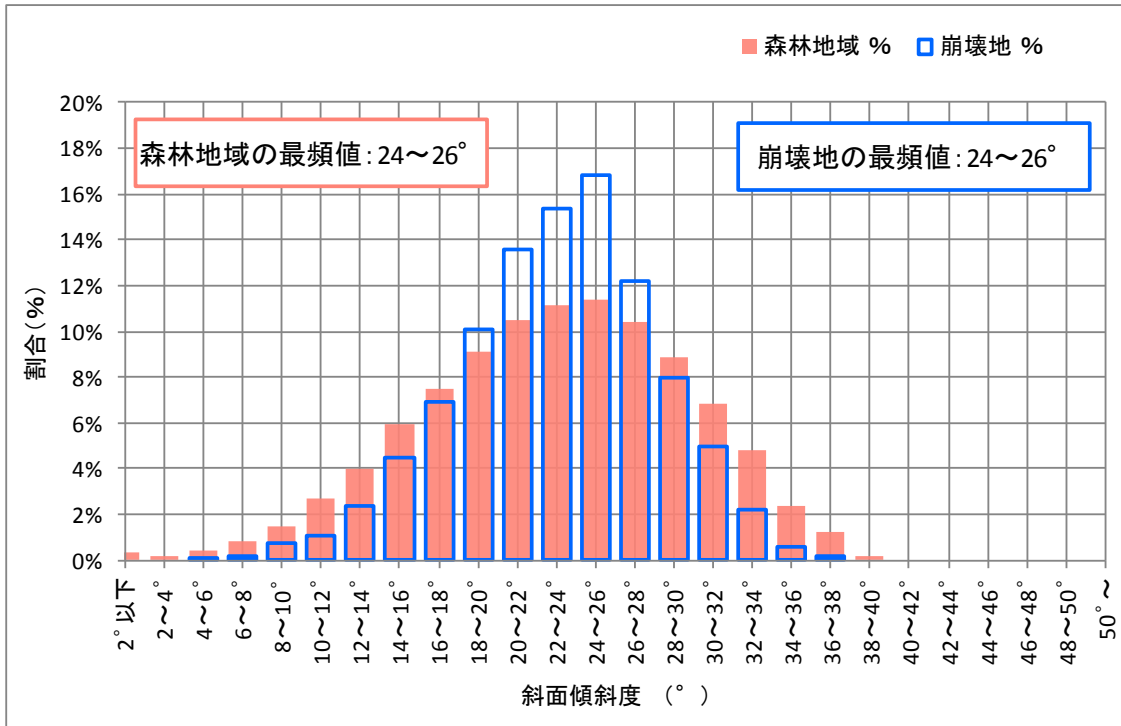
※※分母：雨量階級毎の森林面積

※※※100~200mm：崩壊発生箇所無し、森林面積割合 15.2%

※※※※400~700mm：崩壊発生箇所無し、森林面積割合 0.4%

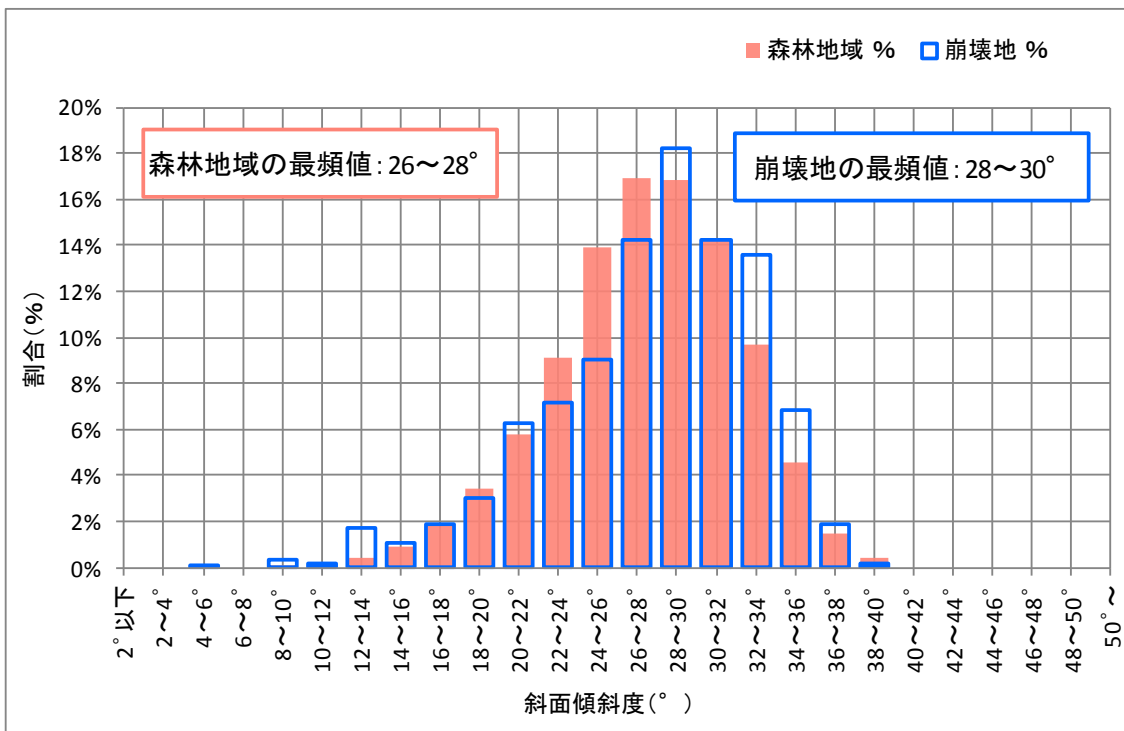


図 1 1 斜面傾斜度別の単位面積当たり崩壊発生箇所数 (グラフ)
 (1) 広島県



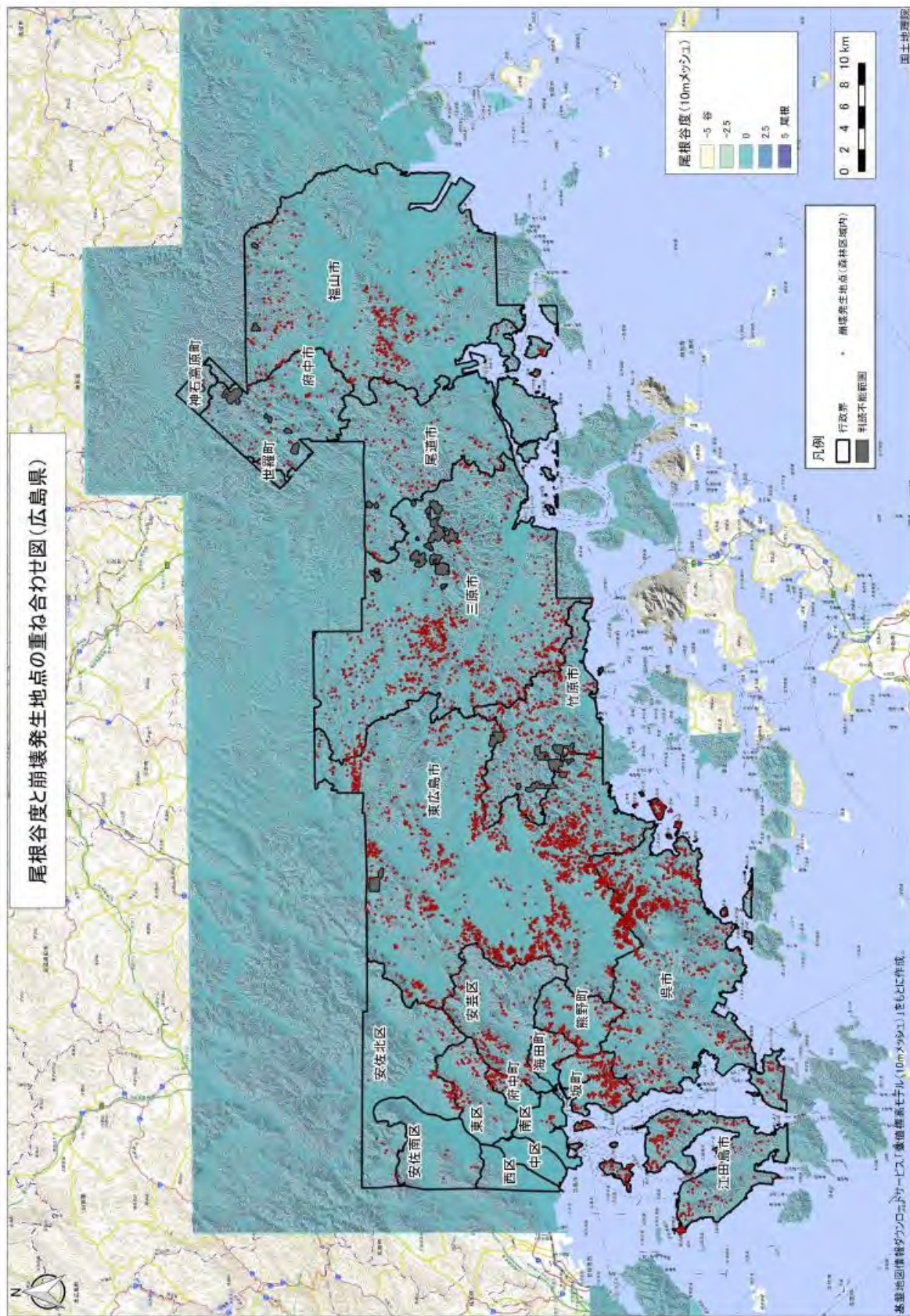
解析メッシュサイズ: 250m×250m

(2) 愛媛県



解析メッシュサイズ: 250m×250m

図 1 2 尾根谷度と崩壊発生地点の重ね合わせ図



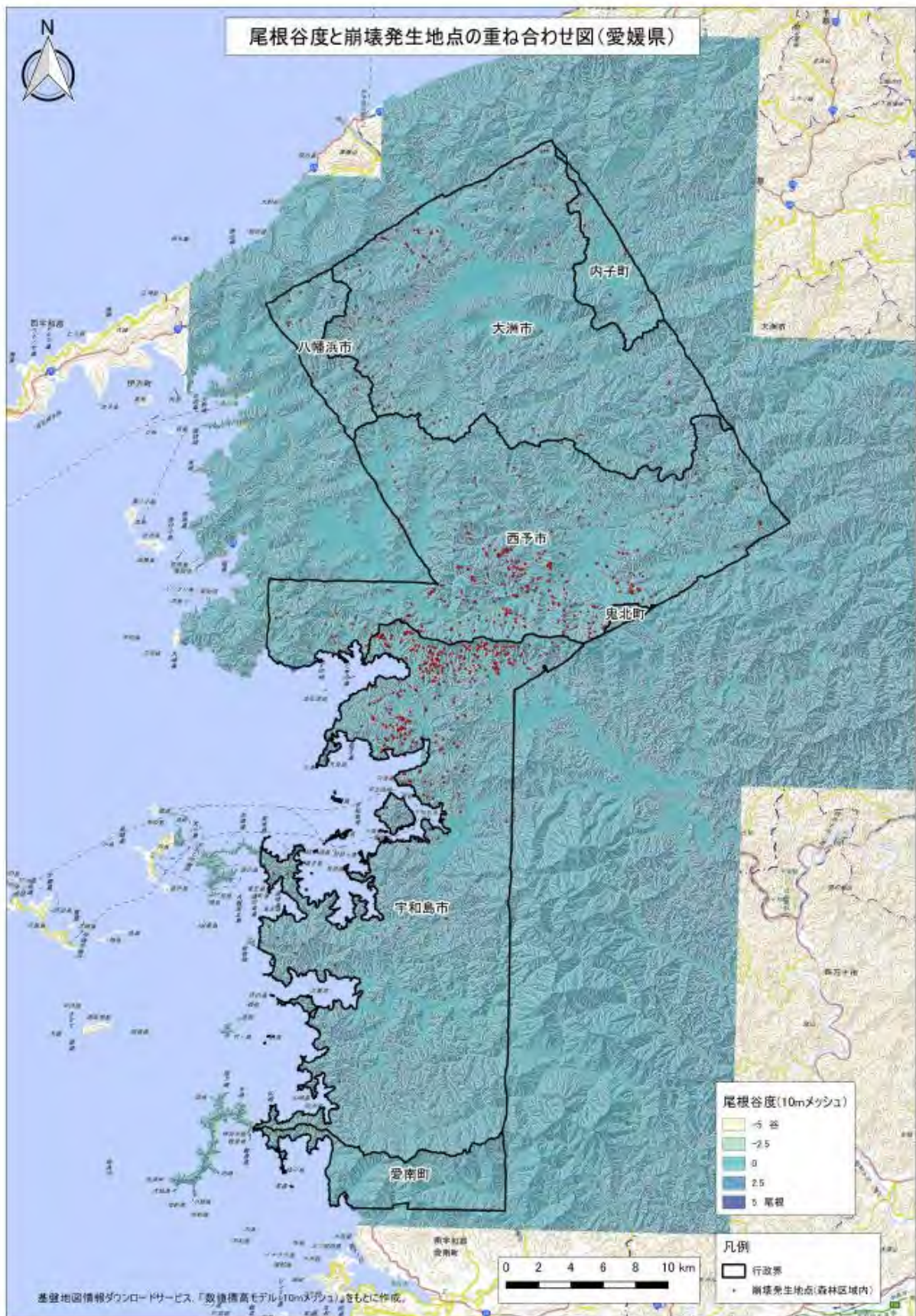
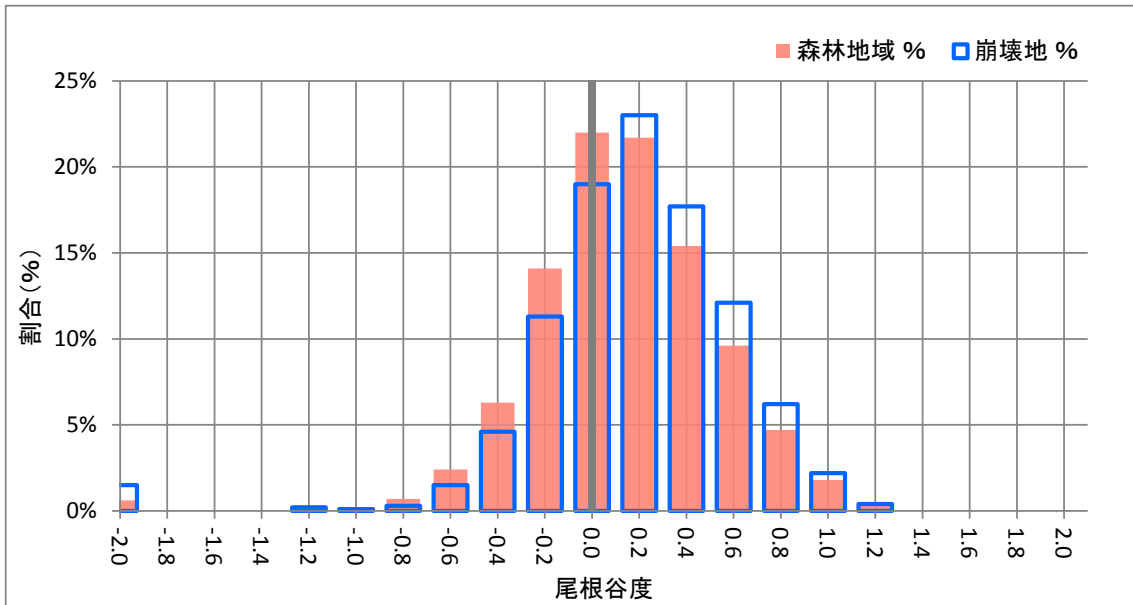


図 1 3 尾根谷度別の単位面積当たり崩壊発生箇所数（グラフ）

(1) 広島県

谷：尾根（全体） = 35：65
 ↓
 谷：尾根（崩壊範囲） = 29：71

- 尾根谷度：
 ・尾根部（凸地形） = プラス
 ・平坦部 = ゼロ
 ・谷部（凹地形） = マイナス

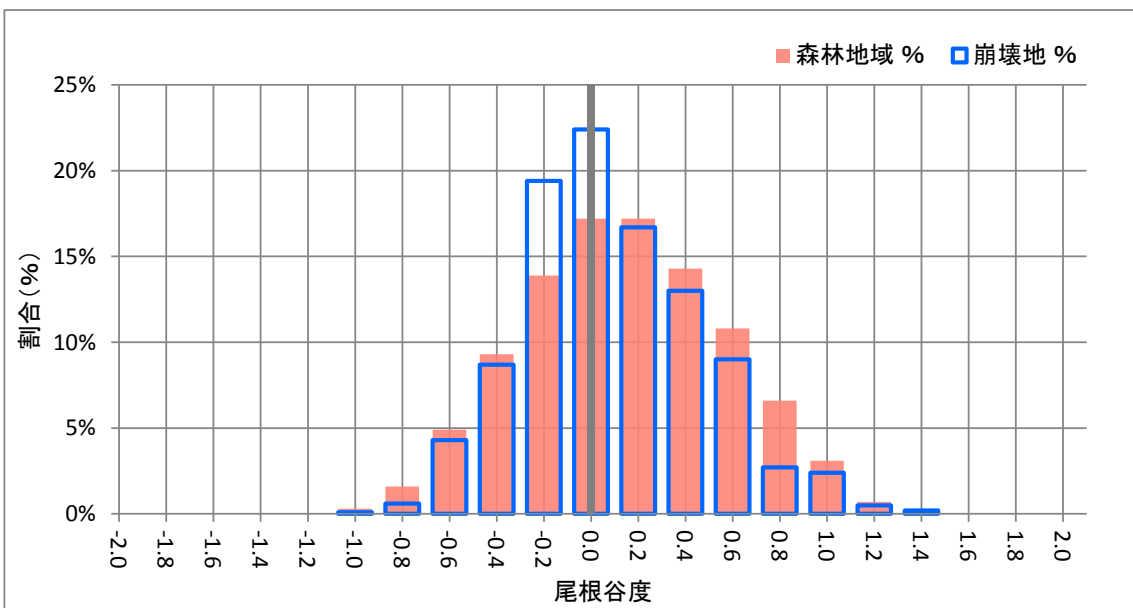


解析メッシュサイズ：250m×250m

(2) 愛媛県

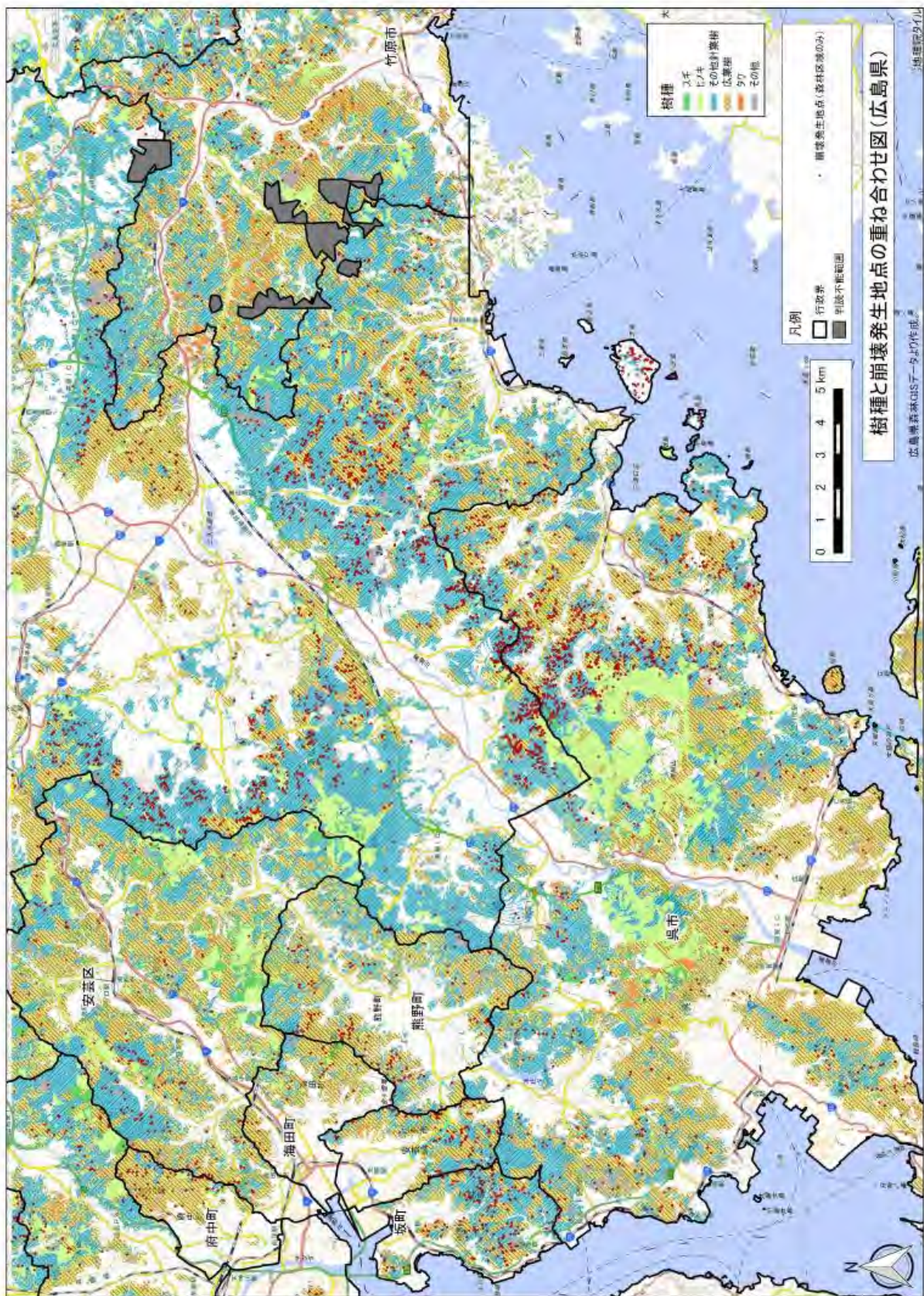
谷：尾根（全体） = 39：61
 ↓
 谷：尾根（崩壊範囲） = 44：56

- 尾根谷度：
 ・尾根部（凸地形） = プラス
 ・平坦部 = ゼロ
 ・谷部（凹地形） = マイナス

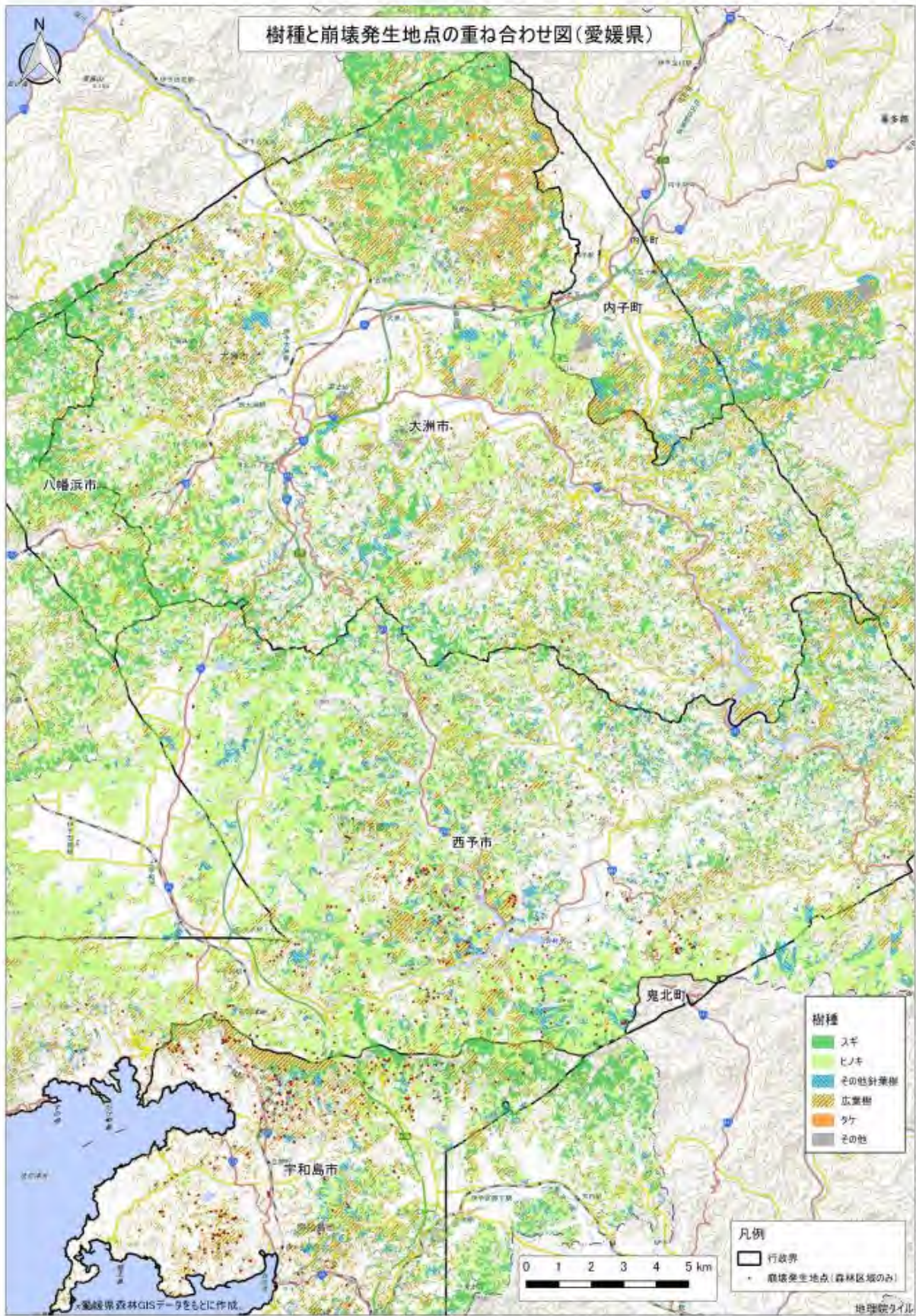


解析メッシュサイズ：250m×250m

図 1 4 樹種と崩壊発生地点の重ね合わせ図



注：樹種区分は森林簿による



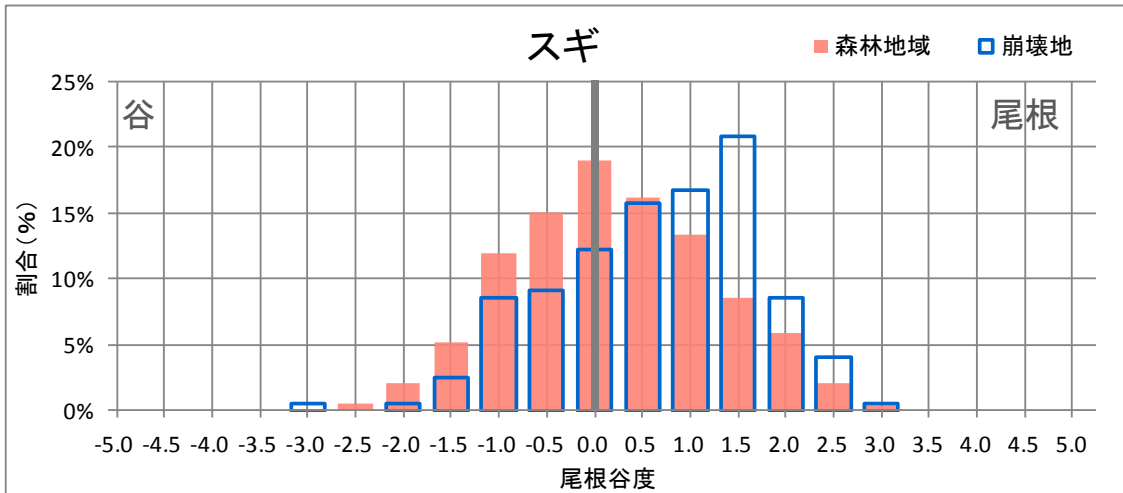
注：樹種区分は森林簿による

図 1 5 尾根谷度別・樹種別の単位面積当たり崩壊発生箇所数（グラフ）
 (1) 広島県

スギ

谷：尾根（全体）	=	44：56
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	27：73

- 尾根谷度：
- ・尾根部（凸地形） = プラス
 - ・平坦部 = ゼロ
 - ・谷部（凹地形） = マイナス

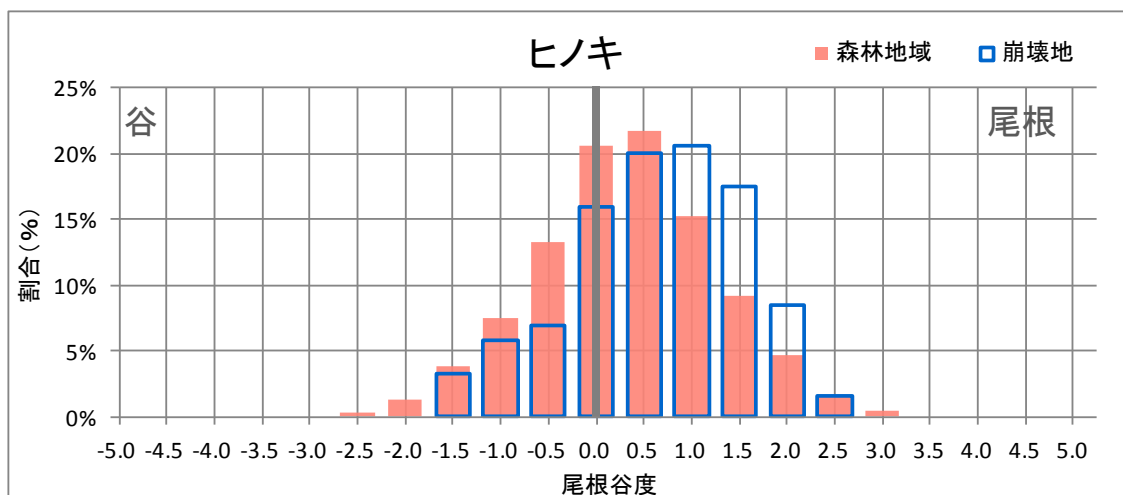


解析メッシュサイズ：100m×100m

ヒノキ

谷：尾根（全体）	=	37：63
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	24：76

- 尾根谷度：
- ・尾根部（凸地形） = プラス
 - ・平坦部 = ゼロ
 - ・谷部（凹地形） = マイナス

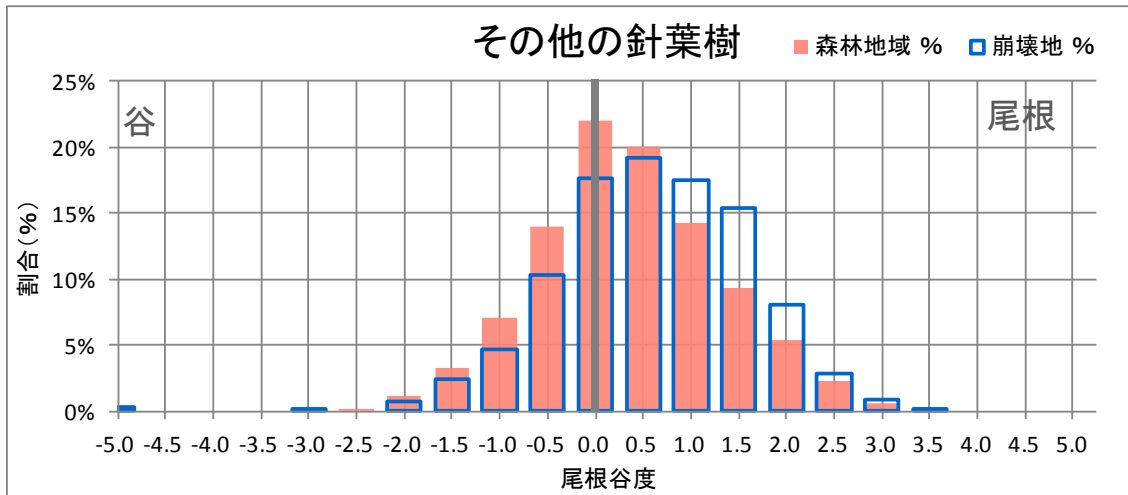


解析メッシュサイズ：100m×100m

その他の針葉樹

谷：尾根（全体）	=	37：63
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	27：73

- 尾根谷度：
- ・尾根部（凸地形）＝プラス
 - ・平坦部＝ゼロ
 - ・谷部（凹地形）＝マイナス

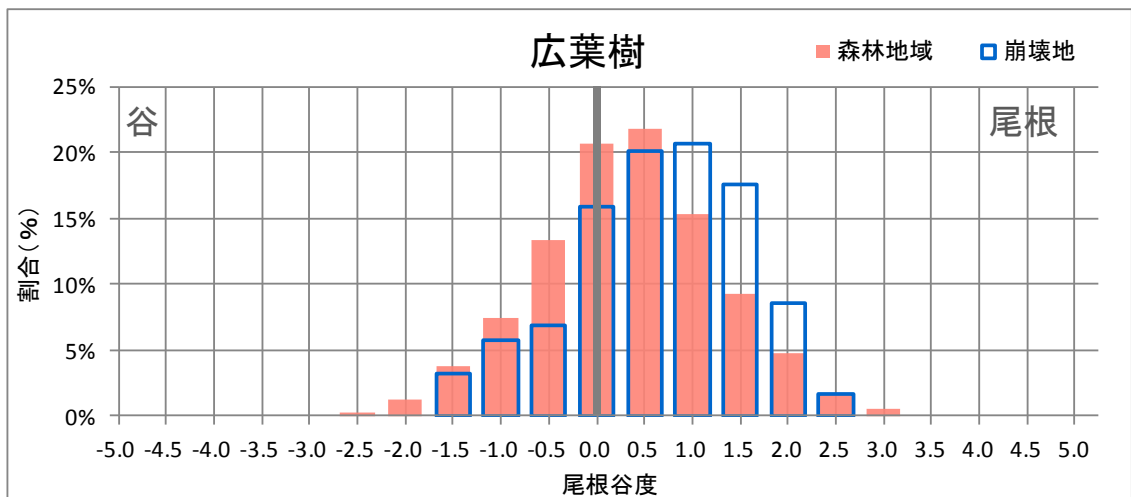


解析メッシュサイズ：100m×100m

広葉樹

谷：尾根（全体）	=	37：63
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	26：74

- 尾根谷度：
- ・尾根部（凸地形）＝プラス
 - ・平坦部＝ゼロ
 - ・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：100m×100m

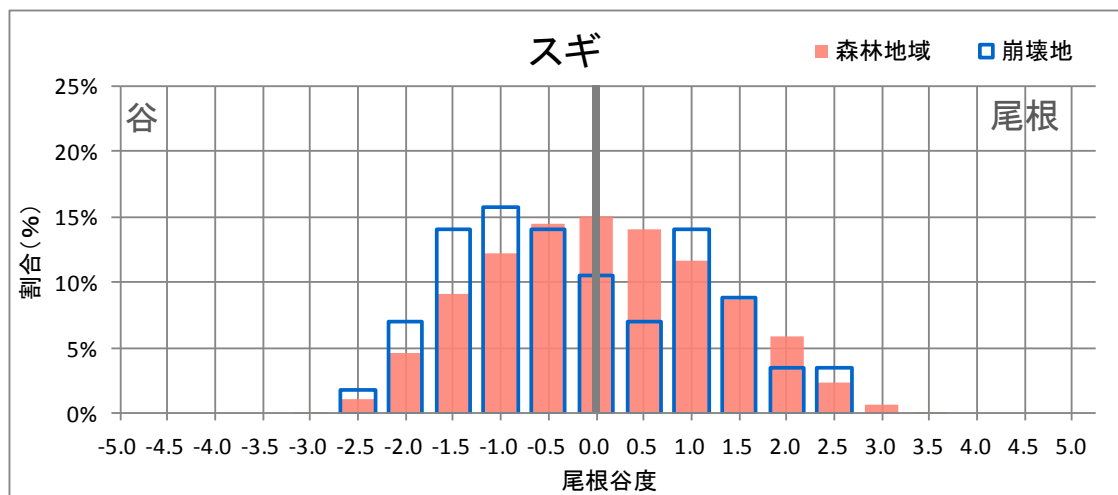
(2) 愛媛県

スギ

谷：尾根（全体）	=	49：51
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	58：42

○尾根谷度：

- ・尾根部（凸地形）＝プラス
- ・平坦部＝ゼロ
- ・谷部（凹地形）＝マイナス

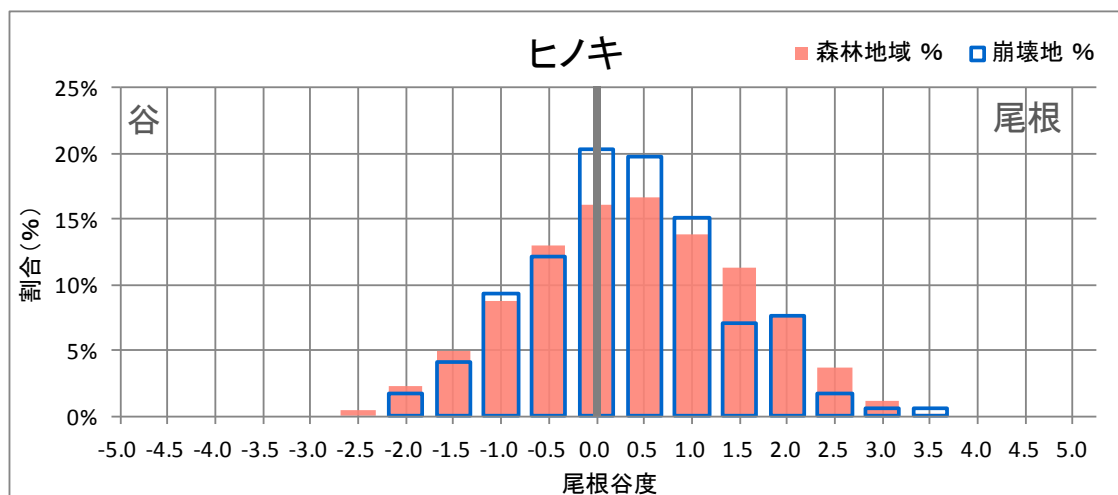


ヒノキ

谷：尾根（全体）	=	37：63
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	38：63

○尾根谷度：

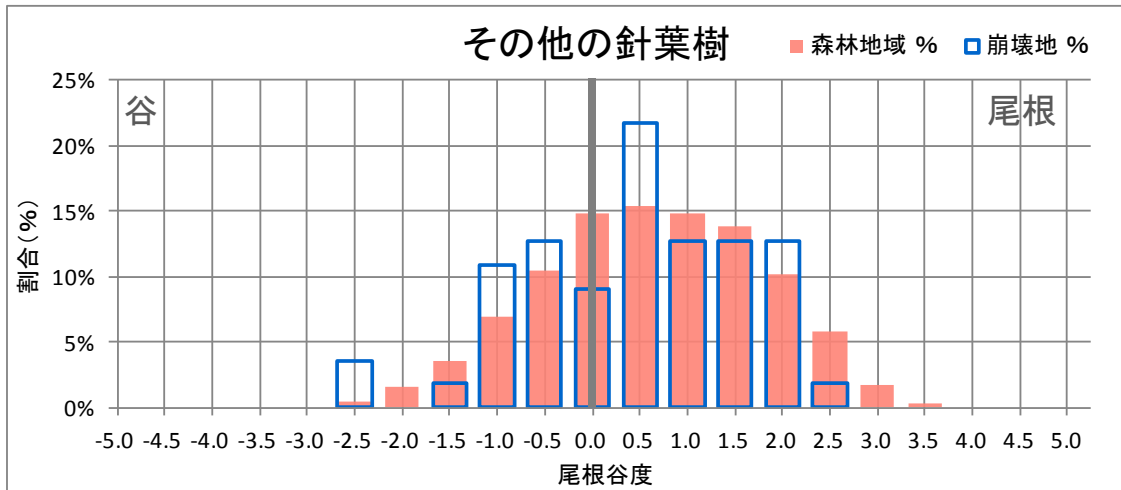
- ・尾根部（凸地形）＝プラス
- ・平坦部＝ゼロ
- ・谷部（凹地形）＝マイナス



その他の針葉樹

谷：尾根（全体）	=	30：70
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	34：66

- 尾根谷度：
- ・尾根部（凸地形） = プラス
 - ・平坦部 = ゼロ
 - ・谷部（凹地形） = マイナス

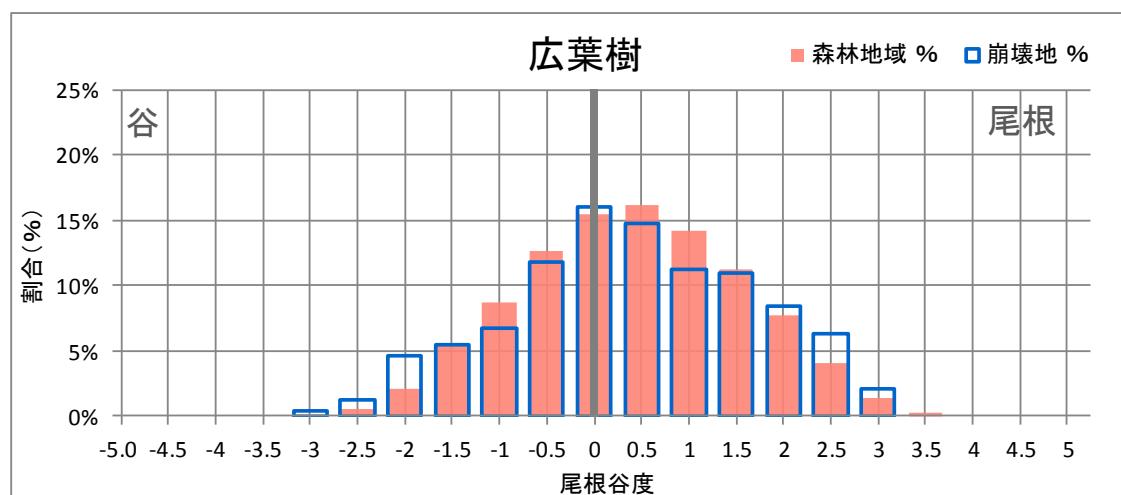


解析メッシュサイズ：100m×100m

広葉樹

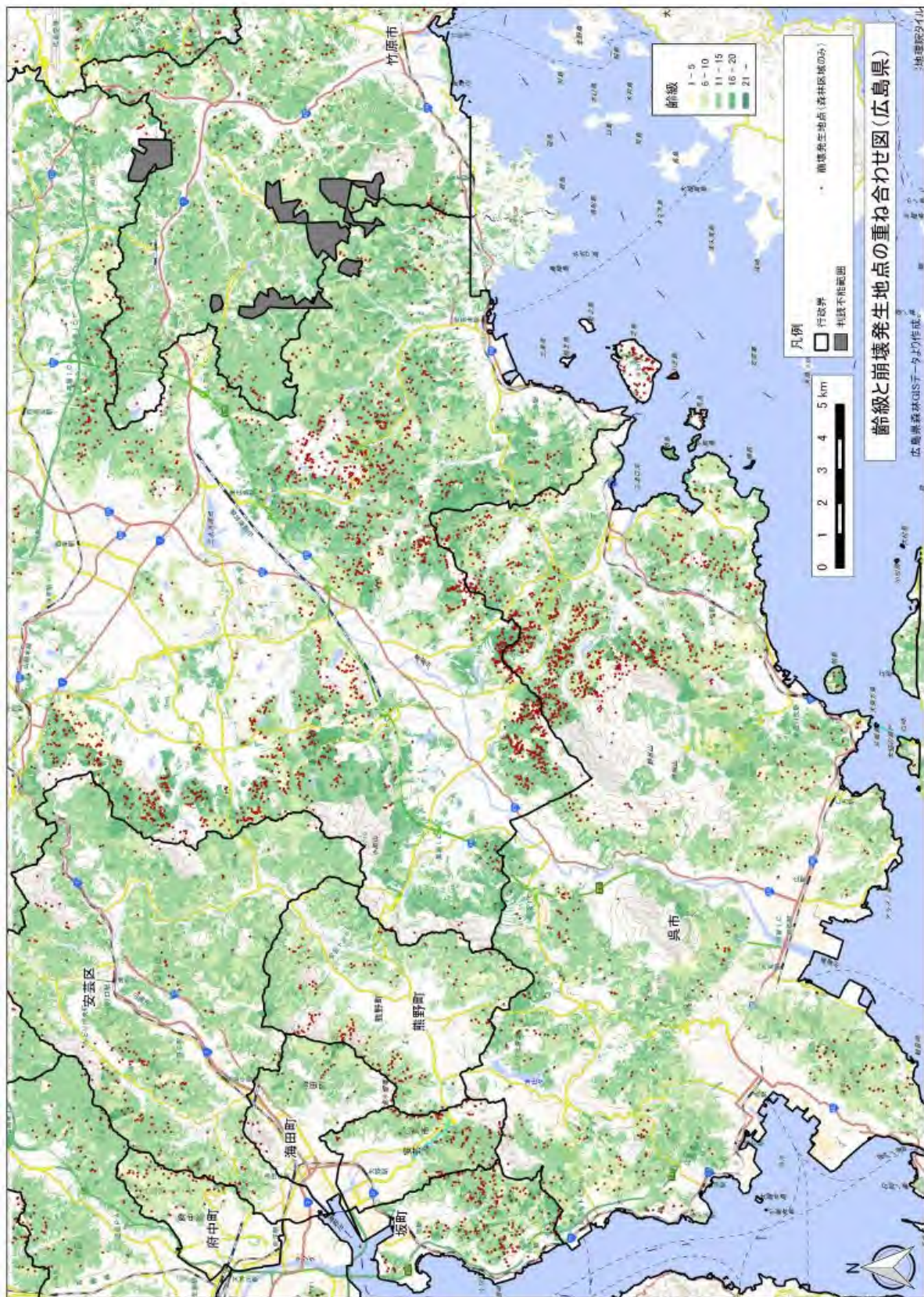
谷：尾根（全体）	=	37：63
↓		
谷：尾根（崩壊範囲）	=	38：62

- 尾根谷度：
- ・尾根部（凸地形） = プラス
 - ・平坦部 = ゼロ
 - ・谷部（凹地形） = マイナス



解析メッシュサイズ：100m×100m

図 1 6 齢級と崩壊発生地点の重ね合わせ図



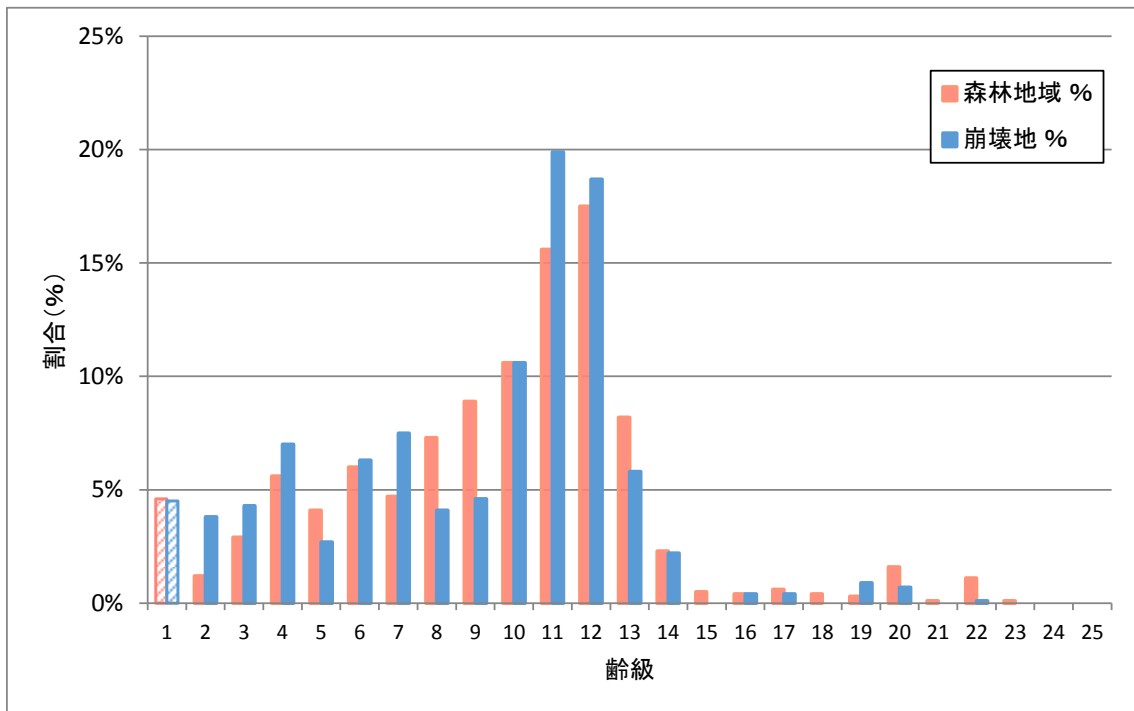
注：齢級区分は森林簿による



注：年齢区分は森林簿による

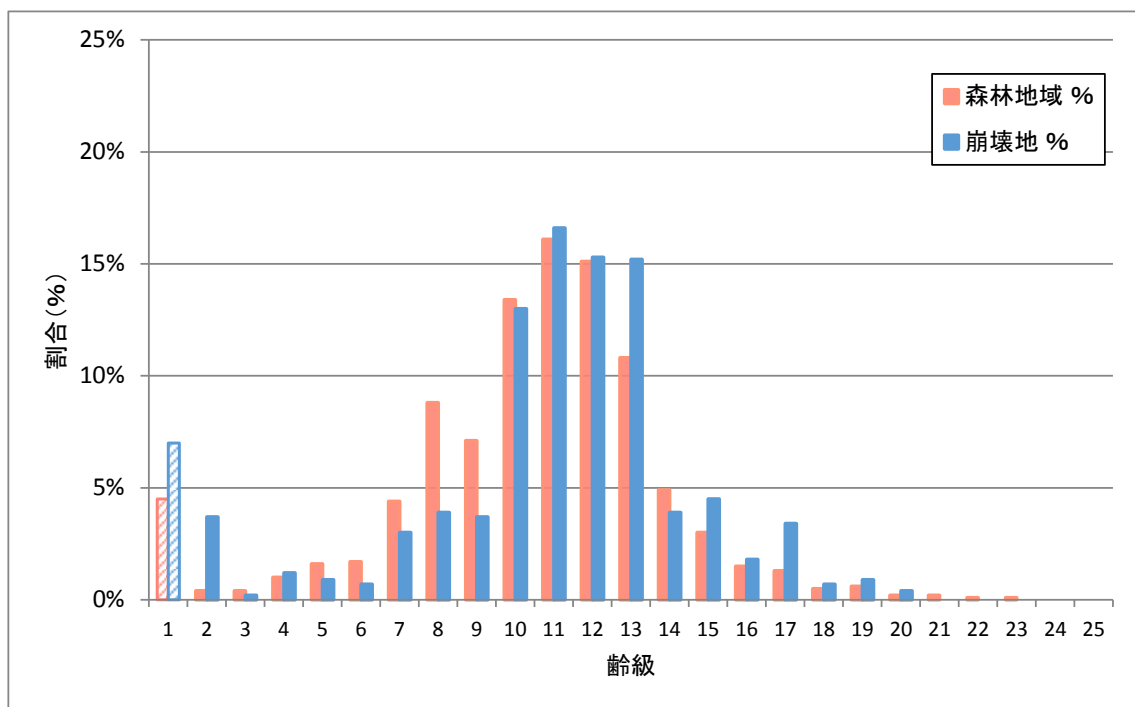
図 1 7 人工林の齢級別森林面積、崩壊発生箇所割合 (グラフ)

(1) 広島県



解析メッシュサイズ：100m×100m
 ※1 齢級：未立木地や未植栽地等を含む

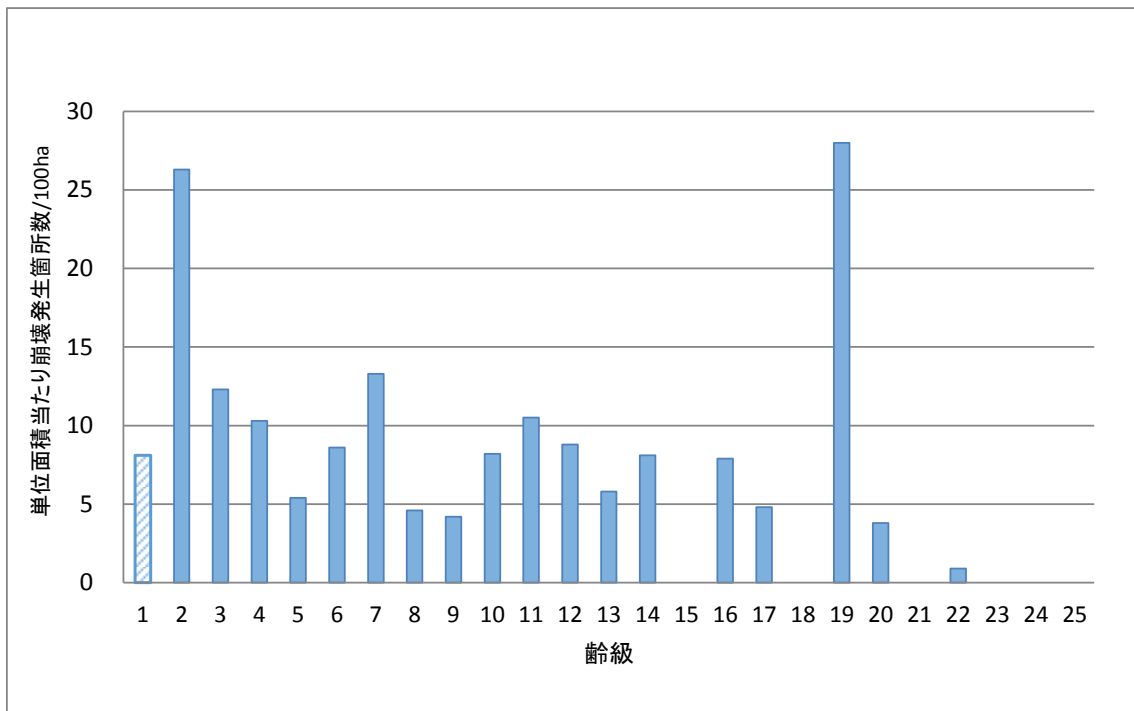
(2) 愛媛県



解析メッシュサイズ：100m×100m
 ※1 齢級：未立木地や未植栽地等を含む

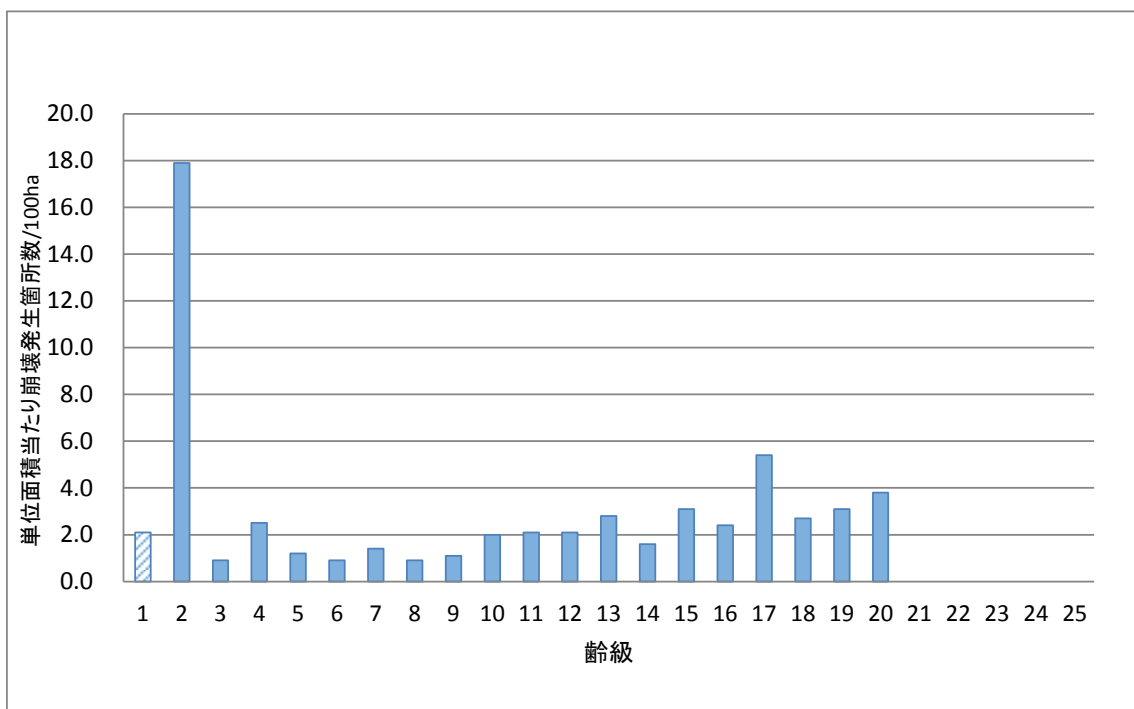
図 1 8 人工林の齢級別単位面積あたり崩壊発生箇所数（グラフ）

(1) 広島県



解析メッシュサイズ：100m×100m
 ※1 齢級：未立木地や未植栽地等を含む

(2) 愛媛県



解析メッシュサイズ：100m×100m
 ※1 齢級：未立木地や未植栽地等を含む